

流域全体であらゆる関係者が協働し、我が国を代表する食料生産基地「十勝」を洪水から守るための治水対策の推進

池田町における流域治水の取組



- 池田町（利別地区）は、川と川に挟まれた地域であり、気候変動によって広範囲で浸水することが想定される。また、周辺に高台や垂直避難が可能な建物が多くは存在せず、避難が困難な地区である。
- 帯広開発建設部では、平成 28 年洪水に対応するための利別川の河道掘削を実施。池田町においては、利別川右岸地区での取得敷地を、新たな緊急避難場所などの防災機能を有する道の駅構想を視野に検討を進めており、将来的には掘削土を活用した高台整備も想定されるなど、地域の治水対策のために必要な方策を関係者が連携して検討していく。

豊頃町における流域治水の取組



- 豊頃町大津市街は、大津漁港を中心とした漁業（定置網での秋サケ漁が盛ん）の拠点として重要な地域である。
- 豊頃町大津市街では、津波や洪水被害の際には町から離れた 2 カ所の避難場所に避難する必要がある、その内国道 336 号に整備されている緊急避難所までは 5km の距離がある。
- 豊頃町では、避難所までのアクセス改善を中心とした整備を実施。
- 帯広開発建設部では、避難経路の途中に一時的に避難できる場所を設ける事で、逃げ遅れによる被害を回避し、住民の命を守る。利別川の掘削土を基盤盛土に活用し、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を推進する。